

会報きりしま

2023年3月31日
第17号

発行：霧島市文化協会会長 瀬戸口 浩
事務局：霧島市スポーツ・文化振興課内



第17回芸術祭「舞台発表」令和5年2月12日 霧島市民会館



文化は生き甲斐



会長 瀬戸口 浩

今年もコロナの影響を受けた一年でした。しかし、霧島市文化協会および霧島市文化協会7支部はこのコロナ禍の中、創意工夫を重ね、今年も年間を通して、活発な活動を展開しました。

まずは「芸術祭」。展示部門は11月27日(日)～12月3日(土)、霧島市民ギャラリーで開催し、どの作品も力作揃いで、訪れた市民の目を楽しませてくれました。

書道部門に特に今年は注目、鑑賞させて頂いたが、素晴らしい作品揃いで時間の経つのを忘れ、見入ってしまいました。

舞台部門は2月12日(日)に開催しました。この日は霧島市の重要な観光文化イベントである「初午祭」と同日開催になり心配しましたが、市長、市議会議長、市議会議員の皆様のご臨席をいただき、盛大に開催できたことは、協会会員の方々の努力の賜物と感謝します。この「初午祭」と同日開催になつてしまったことは、当方の調整不足であり、素直に反省し、今後こう言うことのないようにいたします。内容的には、例年同様力演揃いで、大いに盛り上がっております。

さて、私ごとですが、3年前から肝臓がんを患い、時に「何のために生きているのか？」と通常感覚では思いもしない心が疲弊したための、自問自答を繰り返しています。しかし、答えらしいものを見つめました。それは私が「文化協会会長」という重責を担っているからこそ、見つけることが出来た「生き甲斐」です。私自身、今まで普通に文化活動を続けて参りました。病気のせいで声が出なくなり歌えなくなり自分の存在価値に疑問を持ち始めた時に、「これからの文化協会をどうするか？」と自分に重ねて考えた時「文化は豊かな人生の道標」「文化を通して社会貢献」がこれからの自分に出来ることと自覚が生まれました。

文化は生き甲斐になれます。しかし文化協会はそのままではいけません。より活発な、老若男女が一緒に活動する文化協会にしなければなりません。そのために市議会議員の方々と共に、霧島市の文化振興について考える会を立ち上げる準備もしています。議員の皆様への文化への関心は話すたびに勇気を戴いております。

文化活動により一層のご理解を賜り、ご指導ご鞭撻をお願いしたいと存じます。

最後になりましたが、霧島市民の皆様を始め、文化協会の諸先輩方、関係各位のこれまでのご尽力に敬意と感謝の念を表しますとともに、今後もご協力を賜りますようお願いいたします。

いもじゅうり

いもじゅうり



霧島市長
中重 真一



霧島市議会議長
阿多 己清

霧島市文化協会「会報きりしま」第17号の刊行を衷心よりお喜び申し上げます。

芸術文化は、「まち」の豊かさを表すものと言われていました。昨年も新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、報道等で暗いニュースが取り上げられる中、霧島市文化協会の皆様におかれましては、感染症対策に万全を期しながら、本市の芸術文化活動推進に多大なるご尽力を賜り、多くの市民に「豊かさ」を届けていただいたことに、深く感謝申し上げます。

さて、今年には本県で全国高等学校総合文化祭「2023かごしま総文」が開催されます。総合開会式やパレードに加え、演劇・書道・囲碁など19の規定部門のほか、茶道など3つの協賛部門で発表があり、全国各地の高校生約2万人が参加し、観覧者約10万人が訪れる大きなイベントです。本市での開催部門はありませんが、出場が決定している霧島市立国分中央高等学校放送部をはじめ、本市高校生の本大会への出場と上位進出を期待します。

結びに、霧島市文化協会の会員各位の今後さらなる活動により、各地での芸術文化の活性化が図られ、その灯が多くくの市民の皆様に応じ、幸せが享受されることを祈念します。

霧島市文化協会「会報きりしま」第17号の発刊まことにめでたくございます。

瀬戸口会長をはじめ、文化協会の役員、会員の皆様には、かねてより様々な活動等を通して、本市の芸術文化の振興に多大なるご貢献をいただいておりますことに、心からの敬意と感謝を申し上げます。

相変わらずコロナ禍ではありますが、第17回の芸術祭については、2年ぶりに開催していただき、本当に嬉しかったです。最後まで鑑賞させていただき、感動と元気をいただきました。

芸術文化は、市民の心を豊かにし、生活に潤いを与え、社会全体の活性化にも大いに寄与すると思っております。

協会の大きな役目でもある、各団体等の発表や披露の場の提供、市民の皆様方への鑑賞機会の場の提供など、今後も引き続きご尽力いただければ大変有り難いです。

議会においても有志議員で文化芸術振興議員連盟を立上げて活動いただいております。議会も一緒に、芸術文化の振興のために努力していきたいと思っております。

結びに、文化協会のますますのご発展と会員各位のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げます。

【横川支部】

令和2年から続くコロナウィルス感染や団体数減少に伴い、支部文化祭を大隅横川駅駅舎に移して二年が経ちました。本年度の文化祭開催について理事会で協議した結果、団体数減少により開催は中止となりました。

芸術祭に向けて会員の皆様に展示発表の作品作りや舞台発表のお稽古をお願いしました。

11月27日の準備ではパネルに作品を展示しながら横川地区の皆様には是非、見て頂きたいと強く思いました。次年度は文化祭が開催できる様に皆で知恵を出し合い進んでいきたいと思っております。会員の皆様に感謝申し上げます。



〔牧園支部〕

令和4年度は、一昨年に発生した新型コロナウイルスが依然として猛威を振るう中で、夏場には5千人もの過去最高の感染者数が出るなど、心配する状況もありましたが、牧園支部文化祭は広報範囲を牧園地区に限定しまして、「有観客」で展示発表と舞台発表を開催いたしました。

展示発表は、会員の他に支部内の幼稚園・小中学校と、霧島高校にお願いして、にぎやかな展示となりました。また、舞台発表は日頃の練習の成果を思う存分発表していただき、来場された観客の皆様も満足、発表した出演者も満足していただきました。

令和5年度には新型コロナウイルスの特効薬も出来ているでしょうから、コロナ前の文化祭へ戻れることを期待しています。



〔霧島支部〕

「霧島神宮昇殿参拝・宝物殿拝観の旅」を霧島支部の研修視察として開催しました。国宝指定された霧島神宮の龍柱の彫刻などを拝観し、心に残る研修となりました。今年の文化祭はどの様な形で行うか、実行委員会と協議し、展示と舞台を開催時間を短くし感染対策を行い実施しました。

中重市長・内山事務局長の挨拶で、文化祭がスタートしました。3年振りの舞台発表に、出演者も緊張していましたが、予想以上の方々に来て下さいました。帰られる時の皆様の表情がとても良くて、来てよかったよとお声をかけて頂き、短い時間でしたけど開催して良かったと思えました。

文化祭は文化協会員、地元の方々の協力があつてこそ出来るものです、文化の灯は心の絆を大切にしてくれるものだと思います。



【溝辺支部】

今年の溝辺支部は新しい仲間も1団体増え、16団体でのスタートとなりました。

文化祭は3年ぶりに制限なく観客を入れての通常開催となりましたが、コロナ禍による行動制限こそなかったものの、小・中学校・保育園・幼稚園等の参加は、子供達のことを考えて今回までは見合わせることにしました。

今年は、溝辺支部会員の殆どが舞台や展示に参加でき、また舞台ゲストに出演団体を招き、展示では日展入賞者である地元在住の若手彫刻家の本格的な作品展示、また屋外ではキッチンカーや、小物販売などが出店し大変賑わった文化祭となりました。心配していた入場者も、それなりに来ていただき、安心したところです。

加入団体の減少は続いていますですが、今年は少しばかりの光明を見つけた気がします。今後も継続していけることを願っています。



【隼人支部】

令和4年4月28日、令和4年度の総会を開催しました。新年度の議案がすべて承認され、新たに団体数28団体、会員493名の活動がスタートしました。

「第64回文化祭」は10月23日に開催、コロナ禍のなかではありましたが感染対策を行いながら開催を実行しました。隼人中学校の吹奏楽、宮内小学校は金管バンドの演奏で盛り上げて頂きました。沢山の来場者に心から感謝を申し上げます。

令和5年3月5日は第33回チャリティショーを開催しました。会員皆様の力を結集して頑張っていきます。又、文化活動に興味がある方に会員募集を行っております。



〔国分支部〕

今年も、昨年同様コロナ禍の中で国分支部は様々な対応を迫られました。が、会員相互の連帯と協力努力により当初予定していた行事等は滞ることなく実施できました。

「文化祭」舞台発表部門は、11月3日(木)に、多くの市民の来場を得、開催できました。「文化祭」展示部門は10月29日(日)～11月3日(木)の間シビックセンターギャラリーで開催しました。

今年もその作品は作者の思いのこもった作品ばかりで、鑑賞者の多くの方々から賞賛の声があがっていました。

これからも当支部の基本理念、「文化を受け継ぐ誇り」「文化を創る喜び」「文化を伝える喜び」を持って会員一同、精進を重ねて参ります。



〔福山支部〕

今年度の支部文化祭は、会場を福山公民館から福山活性化センターに移して開催しました。

今回は、コロナ禍で過去二年間控えていた舞台発表も行いました。福山支部は、現在五団体と少なくなりましたが、地域で文化活動に取り組んでいらっしゃる方々の協力をいただき、二十のプログラムを編成して実施することができました。また、福山町制施行五十周年の時に踊られた「福山小唄」を、復活・伝承していこうということで、支部会員を中心に「福山小唄つなごう会」を結成し舞台発表の場で披露しました。

展示では、認定こども園園児の大作をはじめ、有志協力者による各種ジャンルの作品が、文化祭を大いに盛り上げてくれました。

会場が住宅街から少し離れ、どれくらい集客できるか心配していましたが、三百名を超える皆様にお越しいただき、久しぶりに、にぎやかな文化祭となりました。



第17回 霧島市芸術祭展示発表

【令和4年11月27日～12月3日】



展示会場



書道&菊花



牧園支部



霧島支部



溝辺支部



隼人支部



国分支部



横川支部

文芸作品

にしき江短歌会 霧島教室

あしたこそきつと平和にと祈りゐつ
ウクライナの空青く輝け
忘れ物取りに走る子の息白し
額の髪を北風が分け
部屋ぬちに満月の笑み広ごりぬ
祖母にもらひし黄楊櫛みつ
ぼんやりとバルコニーから海を見る
何も考へぬ贅沢もあり
コロナ風吹くな吹くなと祈りゐつ
令和五年の御社の前

霧島俳句同好会

秋の雲天井に貼る世界地図
金継ぎの皿に盛らるる衣
船盛りの祝ひの席や金目鯛
北山の時雨にうるむ金閣寺
天窓にぐるりぐるりやんまの目

隼人俳遊会

新酒のイモ掘る肩にアカネ舞う
からいもの香の残りたる新酒酌む
冬入日吾を待つ野猫のすがる目よ
草千里冬を迎へて緑枯れ
さざ波へ垂れて揺れる萩の花

稲満 洋子

大庭 久子

桑野 敬子

横山 明美

若松奈々子

徳丸 道明

伊地知和枝

松元 明子

八ヶ代典子

マンツエル
・マコ

湧水

槐

庭女

宇都山

若葉

第18回きりしま

美術大賞展

霧島市文化協会の共催事業である「きりしま美術大賞展」が7月に開催されました。一般部門226点、ジュニア部門1798点の応募の中から、審査により入賞150点、入選311点が選ばれ、展示会場の国分シビックセンターには多くの方が訪れました。

【霧島市文化協会賞受賞作品】

●自由部門

『太陽の日』

Rin (神奈川県相模原市)



『冬紅葉』
鈴木 裕太(始良市)



『太陽の日』
Rin (神奈川県相模原市)



『ブリッジができたよ』
養原 一吹樹(国分小学校)



『おにぎりべんとう』
いけのうえ じん(ひかりこども園)



『時計台』
脇田 琉生(横川中学校)



『よく晴れた日の学校』
持永 京香(富隈小学校)

●テーマ部門

『冬紅葉』

鈴木 裕太(始良市)

●ジュニア部門(幼児の部)

『おにぎりべんとう』

いけのうえ じん(ひかりこども園)

●ジュニア部門(小学校低学年の部)

『ブリッジができたよ』

養原 一吹樹(国分小学校)

●ジュニア部門(小学校高学年の部)

『よく晴れた日の学校』

持永 京香(富隈小学校)

●ジュニア部門(中学生の部)

『時計台』

脇田 琉生(横川中学校)

議員と語るかい

総務環境常任委員会9名と瀬戸口会長と支部長含む7名は文化活動の展望について4回目の意見交換会を行いました。

霧島国際音楽祭に参加された議員は、素晴らしい演奏会と演出に魅了された。若年層の普及と加入対策にはSNSやアニメ動画は有効な手段になる。又文化芸術振興議員連盟が結成されて、今後協会の展望が楽しみです。有意義な協議になりました。(令和4年7月19日議会棟にて)



第9回霧島市文化講演会

令和4年度文化講演会はコロナ予防対策に配慮して開催。

情熱家博多和宏氏の「芸術による地域振興・地域づくりの実践」はダンス&パフォーマンスを交えて20年間の経歴と実体験は熱く情熱溢れる内容でした。

日置市吹上町は観光資源に恵まれた地域とは言えませんが一人の情熱家が「地域を変える」行動力は、客席を圧倒する迫力があり、会場は終始熱気に包まれ感動の講演に感謝！(令和4年8月28日多目的ホール)



霧島国際音楽祭 きりしま友の会

きりしま友の会は、霧島国際音楽祭の支援や音楽を楽しむ地域づくりを行うための活動をしています。音楽祭期間中にはのぼり旗設置やまちなかコンサートなどの広報活動を行うほか、会員向けのクリスマスミニコンサートを開催し会員の交流を図っています。参加アーティストや受講生も参加し交流の場となっているビュッフェパーティーの支援も行っています。同音楽祭チケットの先行予約や会員割引などの会員特典も充実していますので、ぜひご入会ください。

● 問い合わせ先

霧島国際音楽祭
きりしま友の会事務局
(霧島市役所スポーツ文化振興課内)
電話0995-6410710



始良地区文化協会 連絡協議会

始良地区(始良市・湧水町・霧島市)では、文化交流事業として地区の文化祭事業へ参加して互いに文化交流の連携を行っています。

第17回霧島市芸術祭展示発表は始良市文化協会・湧水町文化協会が、優秀な作品を出品されて霧島市芸術祭に華を添えて頂きました。



編集後記

- ▼入・退院を繰り返す中で「文化は生き甲斐である」と自認された会長の言葉には重いものを感じます。
- ▼横川支部のパッチワーク・手芸等には、努力の結晶に圧倒されます。
- ▼牧園支部は、幼稚園・小中高生の力作が毎年賑わいを見せてくれます。
- ▼霧島支部は、公民館改築の為に当会場、最後の文化祭になりました。
- ▼溝辺支部は、新進気鋭団体の加入で、屋外イベントでも活況です。
- ▼単人支部は、小中学校の金管バンド・吹奏楽は素晴らしい演奏でした。
- ▼国分支部の展示発表はの日間、市役所ホールで豪華に展示します。
- ▼福山支部は、活性センターで大規模に開催されました。
- ▼文化講演会は、情熱が地域を活性させる体験談に感動でした。
- ▼始良市、湧水町の交流事業は市民ギャラリーで展示が好評、5年度は、湧水町で開催予定。

(文責 内山竹文)